

一般社団法人長岡青年会議所
2020年度 第2回 理事候補者会議
議事録

日 時: 令和元年10月7日(月) 19:00～

場 所: アオーレ長岡 市民交流ホールD

出席者: 出欠表参照

1. 開会宣言 : 金子隼人専務理事
2. JCI Creed 唱和 : 中村洋志おまつり委員会委員長
3. JCI Mission 並びに JCI Vision 唱和 : 小川文太青少年スポーツ推進委員会委員長
4. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和 : 荒木法子より良く長く委員長
5. 長岡 JC 宣言唱和 : 土田慶和65周年特別委員会委員長
6. 議事録 作成人の指名 : 総務委員会(星野健太)
7. 定足数及び配布資料の確認 : 下条祐貴総務委員会委員長

定足数 : 19時07分、理事37名中32名の出席を確認。

定足数を満たし、会議の成立が宣言された。

当日配布資料: ファイル名 20_02rijikouhosha

8. 理事長挨拶(別紙) : 今泉知久理事長
9. 直前理事長挨拶(別紙) : 欠席の為割愛

10. 議長選出

定款第37条1項の規定により、今泉知久理事長が議長に選出された。

11. 前回議事録の承認 : 今泉知久理事長
12. 審議事項(別紙)

【A. 特別議事】

- (1) 2020年度理事長所信(案)承認に関する件

全理事賛成により承認された。

- (2) 2020年度組織図(案)承認に関する件

全理事賛成により承認された

【B. 一般議事】

- (1) 2020年度収支予算(案)承認に関する件

2020年度収支予算(案)は、次回再上程となった

- (2) 2020年度例会・理事会日程(案)承認に関する件

2020年度例会・理事会日程(案)は、可決された。

- (3) 2020年度委員会事業計画(案)承認に関する件

2020年度委員会事業計画(案)は、可決された。

13. 次回開催日

日 時：令和2年1月22日（水）19：00～

場 所：まちなかキャンパス301

14. 監事講評(別紙) : 高見礼央監事

15. 閉会宣言 : 金子隼人専務理事

年 月 日 曜日

※承認された日を記入してください。

理事長：

監事：

監事：

議事録作成人：

※理事長と監事は、署名すること。議事録作成人は署名すること。

一般社団法人長岡青年会議所
2020年度 第2回 理事候補者会議
議事録(別紙)

8. 理事長挨拶 : 今泉知久理事長

自身の考えや想いを言葉にし、互いを知り合う機会ととらえ、今後も積極的に挑戦して下さい。初めての取り組みに直面するとネガティブな感情が先行しがちですが、誰もが最初の一回を踏み出せる、そういったコミュニティになっていただきたいと思います。また、JCでの活動において、先輩に叱責注意される事がありますが、「後輩や部下に語り継いでいく事が増えた」等ポジティブに捉え、距離を置くではなく1歩踏み込んでコミュニケーションを取る。こうする事で良い関係が築ける事が多いです。今後のJC生活の参考にしていただければと思います。

12. 審議事項(別紙) : 今泉知久理事長

【A. 特別議事】

(審議1) 2020年度 理事長所信(案)の承認に関する件

Q: 石塚昌紀理事

力ある青年の項目との中で文章が破綻しています。

A: 今泉知久理事長

前後半で矛盾している点について、総務委員長時代より掲げている「外柔内剛」を強く訴えている部分であるため、あえてこのように記載しました。

Q: 長谷川繁理事

最後の「make hope.」にピリオドがありますが意味はありますか

A: 今泉知久理事長

ありません。バランスを考え「make hope.」としました。

Q: 小熊孝幸理事

「子ども」と表記されていますが、統一文言集では「子供」になっています。

A: 今泉知久理事長

修正しました。

Q: 小熊孝幸理事

復興尽力は個人では無く複数人なので「先人達」が適切だと思います。

A: 今泉知久理事長

修正しました。

Q: 西方太地理事

文法的に「make hope.」ではなく「make at hope.」ではないでしょうか。

A:今泉知久理事長

文法的には問題がない事が確認できましたので「make hope.」とします。

【採決】 挙手によって行われた。

【採決結果】 全理事賛成により承認された。

(審議2) 2020年度 組織図(案)の承認に関する件

Q:石塚昌紀理事

新入会員の出向が無いということですが、人手が必要な事業が多々ありますのでその辺りの対応をお聞かせ下さい。

A: 金子隼人専務理事

委員会毎に活動目的を明確に伝えてもらい、委員会の垣根を越えて新入会員に限らず声をかけあい協力しあうといった形で対応したいと考えています。

Q:田中勝也理事

財政局を設置した理由とそれぞれの役割をお聞かせ下さい。

A:金子隼人専務理事

「扱う金額が多くなる」「委員会数を増やす」「理事会を1回に減らす」

これらの理由により、財政局を設置しました。

O:白井忍理事

「組織表」「組織図」「65周年」のより良く長く委員会の「良く」の表記を漢字で統一して下さい。

A:金子隼人専務理事

修正します。

【採決】 挙手によって行われた。

【採決結果】 全理事賛成により承認された。

【B. 一般議事】

(審議1) 2020年度収支予算(案)承認に関する件

O:西方太地理事

260万の予算となっていますが、ペナルティ基金等を取り崩して調整されてはいかがでしょうか。

A:高田光財政局長

見た目の上では赤字となっておりますが、理事承認予算と予備費の未確定分が300万あるため、赤字にはなっていません。ペナルティ基金と周年基金の取り崩しプラスアルファで65周年式典祝賀会が行える位の予算で考えております。

Q:田中勝也理事

入会金・年会費について変更はないのですか。

A:高田光財政局長

現時点では入会金を減らす事は難しいと考えております。各委員会の継続事業の見直しや事務局の移転等の努力で年会費を減らす事は可能だと思います。

Q:田中勝也理事

各委員会での費用に上下が見受けられるのでそれぞれの理由を教えてください。

A:高田光財政局長

今回、全委員長の皆様より考えている全ての事業に必要な予算を1つ1つ出していただき、予算を決めていただきました。そのため、当初の希望額より数百万単位で減っているところもございます。

Q:米山悟史理事

10月より増税となりますがそちらに関してはどのような様にお考えでしょうか。

A:高田光財政局長

例年の各予算の消化率と予備費を元に検討した結果、増税後も正常な運営が行えると考えています。

Q:小熊孝幸理事

マイプレ広告費30万、「We Believe」講読費ですが必要な理由を教えてください。

A:高田光財政局長

「We Believe」は日本J Cの運動内容や情報を即座に共有する重要な媒体であり、マイプレ広告費に関しては、各事業の報告やPRが出来る媒体であるからです。

Q:山本晃弘理事

管理費支出「賃料」に関して、今後事務局のトイレの改築や賃下げ交渉をしていく予定はあるのでしょうか。

A:高田光財政局長

交渉の実現に向けて頑張ります。

【採決】 挙手によって行われた。

【採決結果】 全理事賛成により承認された。

(審議2) 2020年度例会・理事会日程(案)承認に関する件

【説明】 金子隼人専務理事

前回頂いたご意見を参考に全員で65周年に向かうべく9月と10月の例会を入れ替え、

再上程させていただきました。

O: 小熊孝幸理事

次年度理事長が委員長候補者に電話する等の次年度に向けた動きも1ヶ月ずれるという事でしょうか。

A: 金子隼人専務理事

次年度に向けた準備のために動いていただきたいと思います。

【採決】 挙手によって行われた。

【採決結果】 全理事賛成により承認された。

(審議3) 2020年度委員会事業計画(案)承認に関する件

総務委員会

【説明】 下条祐貴総務委員会委員長

前回頂いたご意見を参考に各項目を修正しました。

O: 西方太地理事

「執り行ないます。」だと「執行」となりますので「行います。」の方が良いと思います。

A: 下条祐貴総務委員長

調べた結果、「執り行う」という文言がより適切だと判断しました。

Q: 山本卓哉理事

議案書の書き方などの育成についてひとつづくり系委員会との棲み分けはどの様にお考えですか。

A: 下条祐貴総務委員会委員長

礼儀、服装やマナー等はひとつづくり系委員会に、議案書の書き方などの実務的な部分に関しては、総務委員会とひとつづくり委員会で連携してより良い方法を模索していきます。

Q: 山本卓哉理事

「時代と共に移り変わる社会構造と価値観の多様化」と有りますがどの様な物なのか説明をして下さい。

A: 下条祐貴総務委員会委員長

「時代と共に移り変わる社会構造」とは、高齢化や地方から都市部への人口流出の進行に伴う社会構造の変化と捉えています。

「時代と共に移り変わる価値観の多様化」とは、集団行動と個人主義のバランスの変化の事です。1つの目標に対して皆が一丸となって動く事が、個人主義の広がりによって昔より難しくなっています。加えて、新しい価値観が生まれることによって、これまで当たり前であった事がそうでなくなり、対応もその度に次々と変えていかなければなりません。

Q:山本卓哉理事

4行目から5行目の中で、背景の中に目的があるように見えますので委員長のお考えをお聞かせ下さい。

A: 下条祐貴総務委員会委員長

目的ではなく課題と捉えています。受け継ぐ事が我々自身の取り組むべき課題であり、目的ではないと考えています

【採決】 挙手によって行われた。

【採決結果】 全理事賛成により承認された。

【事業計画承認後の一言】 下条祐貴総務委員会委員長

事業計画の承認をして下さり、ありがとうございます。会議手法を学ぶ事で会議の効率化に繋げ、活発な意見はより良い事業計画とメンバーの誇りを生み出し、それらを次代に引き継いでいく。「好循環を生み出す」というテーマを意識して事業計画を作成しました。これからも限りある時間を実りのあるものとするために、総務委員会は努力していきます。今後ともよろしく願いいたします。

人財育成委員会

【説明】 渡邊雄也人財育成委員会委員長

修正点について説明後、前回持ち帰りとなった質問について再回答した。

Q:石塚昌紀理事

育成システムについて、本年度と同じような物をお考えでしょうか。

Q:石塚昌紀理事

答弁の内容を考えますとトレセミが5月では遅い気がします。可能であれば4月にしてみてはいかがでしょうか。

A: 渡邊雄也人財育成委員会委員長

トレセミでは長岡青年会議所の中だけではなく、「青年経済人」として社会に出ても使える物を構築していきたいと考えております。トレセミの時期に関しては、もっと早い段階で行えるよう考えていきます。

Q:白井忍理事

栃尾 JC や小千谷 JC 等がある中、更なる会員拡大を推し進めるのでしょうか。

A: 渡邊雄也人財育成委員会委員長

人口が減っているからこそ、長岡のまちづくりを考えられる新しい人財を1人でも多く育成することが大切だと思います。

Q:田中勝也理事

拡大運動と有りますが、どの様なイメージですか。

A: 渡邊雄也人財育成委員会委員長

人財育成委員会が主動となり、会員拡大を全メンバーで意識して行っていくというものになります。

Q: 丸山利彦理事

「既存」と有りますが何故委員会メンバーではなく既存なのでしょう。

A: 渡邊雄也人財育成委員会委員長

「既存」メンバーに「委員会メンバー」も含まれています。

O: 田中勝也理事

32名の会員拡大はかなり多いと思います。実現に向けての意気込み等を聞かせて下さい。

A: 渡邊雄也人財育成委員会委員長

32名の拡大と聞いた時は戸惑いましたが、全メンバーを巻き込んであたらればなんとか実現出来ると思います。次の拡大運動に繋げるためにも全員で頑張っていきましょう。

【採決】 挙手によって行われた。

【採決結果】 全理事賛成により承認された。

【事業計画承認後の一言】 渡邊雄也人財育成委員会委員長

事業計画の承認、ありがとうございます。来年の人財育成委員会に向けて、青年会議所の意義と委員会を通して学びました。先を見据えた人財作りを目標に活動していきます。先輩の皆様の力をお借りし、若い人財に成長の機会を与える。その関係性を作る機会を作っていきたいと思っております。1年間よろしく願いいたします。

平和の想いを結ぶ委員会

【説明】 赤川朋哉平和の想いを結ぶ委員会委員長

修正点について説明後、前回持ち帰りとなった質問について再回答した。

O: 白井忍理事

啓蒙活動という言葉が適切なのか検討して下さい。

A: 赤川朋哉平和の想いを結ぶ委員会委員長

市民と共に学ぶ事業であるため、「平和学習」に変更しました。

Q: 加藤弦太理事

平和活動はどの程度広げていく予定でしょうか。

A: 赤川朋哉平和の想いを結ぶ委員会委員長

地域としての範囲は限定していません。長岡の平和を考えるすがたについて、連携先と共に理解しあいながら伝える事のできる範囲での活動を模索しながら行っていきたいと思

います。

O: 田中勝也理事

長岡の町に絡めた平和について語って欲しいです。

Q: 高頭直人理事

平和とはどのような物とお考えでしょうか。

A: 赤川朋哉平和の想いを結ぶ委員会委員長

お互いを尊重しあい、思いやりを持つことで今まで繋がりのなかった人達が手を取り合うすがたを目指しております。

Q: 米山悟史理事

希望を持てる町となるために、なぜ伝播する必要があるのでしょうか。

A: 赤川朋哉平和の想いを結ぶ委員会委員長

平和の大切さについて考えることのできる人や地域の範囲を広げて活動を伝播することで、委員会計画全体の効果を高めるための意味で「希望の持てる町」という表現を用いています。

O: 石塚昌紀理事

変更点を統一してはいかがでしょうか。

A: 今泉知久理事長

一考します。

Q: 小熊孝幸理事

委員会事業計画書に記載されている「平和」について、委員長の考えを聞かせて下さい。

A: 赤川朋哉平和の想いを結ぶ委員会委員長

「平和」における概念について、計画書で大きく打ち出すといったことはしていません。あくまでも長岡の町は長岡空襲の史実を通じて平和を大切にする文化・土壌がある中で、市民がもっと平和に対して長岡空襲の史実から学び関心を持とうというテーマの下、「平和」という文言を使用しています。

【採決】 挙手によって行われた。

【採決結果】 全理事賛成により承認された。

【事業計画承認後の一言】 赤川朋哉平和の想いを結ぶ委員会委員長

委員会計画の書き始めより、想いを全力でぶつけさせていただきました。その結果、内容の伝わりにくさに苦勞する事も多かったのが正直なところです。長岡空襲の史実、長岡市民の想い等、多くのものを積み重ねてきたその歴史を学ぶ事で、我々が未だ見ぬ様々な可能性、町を大きく、より良く変えていく、皆の生活がより豊になっていく大きなきっかけがこの1年後にあると信じて、メンバーや市民にこの想いが明確に伝わって少しずつ変わっていけるよう努力していきます。

まちづくり委員会

【説明】兼古健太まちづくり委員会委員長

修正点について説明後、前回持ち帰りとなった質問について再回答した。

Q:加藤弦太理事

「市外で成長した若者が長岡へUターン、Iターン～」の部分の「Uターン」という文言は必要なのでしょうか。

A:兼古健太まちづくり委員会委員長

長岡から市外に進学して、成長した若者も戻ってきて欲しいため、「Uターン」という文言は必要だと思います。

O:小川恭子理事

忘年会について、多様な価値観についての内容がないので入れてみてはいかがでしょうか。

A:兼古健太まちづくり委員会委員長

対内事業であるため、仲間との絆を大切にしたいという思いから、多様な価値観についての記載はしません。

Q:加藤弦太理事

長岡青年会議所だから出来る強みとはなんですか。

A:兼古健太まちづくり委員会委員長

行政に対しては「長岡市全体」ではなく、「長岡青年会議所」を局地的にえこひいきしてもらえるという点。個人に対しては「予算をもっている」という点です。他団体と比べると行動力のある若いメンバーが充実しているため、攻めの活動ができるという点も強みだと思います。

Q:土田雅彦理事

情熱と熱意は類似しているので一考して下さい。

A:兼古健太まちづくり委員会委員長

情熱のみ使用する形に変更しました。

【採決】挙手によって行われた。

【採決結果】全理事賛成により承認された。

【事業計画承認後の一言】兼古健太まちづくり委員会委員長

委員会として馴染みのあるまちづくり委員会ですが、まちをつくるという事について今まで考えたこともなく、壮大な名前だとまず私は思いました。長岡JCの中では対外向けの委員会となっておりますが、まちをつくる上では「困難」しかないとも思います。壁にぶつかることも多々あると思いますが、この事業計画からぶれずに委員会スタッフ、メンバー一丸となって全力で突き進んでいきます。

おまつり委員会

【説明】 中村洋志おまつり委員会委員長

修正点について説明後、前回持ち帰りとなった質問について再回答した。

Q: 矢澤貴史理事

長岡魂とは何ですか。またそれを感じるのはどうすれば良いでしょうか。

A: 中村洋志おまつり委員会委員長

決して諦めず、どんな困難も乗り越える意味合いだと考えています。

Q: 小熊孝幸理事

「運動を巻き起こす」とありますが、1日で運動を巻き起こせるものでしょうか。

A: 中村洋志おまつり委員会委員長

その構築段階や全てを通じて運動を巻き起こすという意味合いになっております。事業を1日で創り上げるといった事ではありません。

O: 小熊孝幸理事

20行目の「共に」の表記を修正してください。

A: 中村洋志おまつり委員会委員長

修正します。

中村洋志おまつり委員会委員長の口頭での修正点の再確認が行われ、採決に移った。

【採決】 挙手によって行われた。

【採決結果】 全理事賛成により承認された。

【事業計画承認後の一言】 中村洋志おまつり委員会委員長

今回の細かい修正点を見逃さないように、委員会メンバーと共にしっかりと見ていきたいと思えます。おまつり委員会としましては、祭を最大限に活用して多くの人を巻き込み、必ず長岡を活性化させるとともに、おまつり委員会の必要性を疑問視されるような事のないよう委員会メンバーとともに邁進してまいります。1年間よろしくお願ひ致します。

青少年スポーツ推進委員会

【説明】 小川文太青少年スポーツ推進委員会委員長

修正点について説明後、理事からの質問について回答した。

Q: 米山悟史理事

11行目「夢をかきたてる力」とはどのような力の事でしょうか。

A: 小川文太青少年スポーツ推進委員会委員長

他人からではなく、自ら夢の実現に向かい進んでいく力だと考えています。

【採決】 挙手によって行われた。

【採決結果】全理事賛成により承認された。

【事業計画承認後の一言】小川文太青少年スポーツ推進委員会委員長

昨日のアルビレックスBCとの練習会にて、楽しそうに参加しているメンバーのお子さんを見て改めて青少年スポーツ推進委員会の大切さを実感しました。長岡の子ども達を1人でも多く笑顔で明るく、元気にできるよう一生懸命頑張ってまいりたいと思います。1年間よろしくお願い致します。

より良く長く委員会

【説明】荒木法子より良く長く委員会委員長

修正点について説明後、前回持ち帰りとなった質問について再回答した。

Q:加藤弦太理事

何故この対比を選んでいるのですか。

A:荒木法子より良く長く委員会委員長

0～8歳の子供達が私達の年齢になる頃には、私達は丁度高齢者になっており、対比としてイメージが伝わりやすい事。0歳～9歳と80歳以上の対比は最近句である「超高齢社会」を示す上で適切だと考えたからです。

Q:石塚昌紀理事

高齢者がターゲットではなく、我々の世代がターゲットだという事であれば文章全体を見直すべきではないでしょうか。

A:荒木法子より良く長く委員会委員長

文章全体を見直した結果、我々自身が「自分事」として超高齢社会を見直していき、「自分事」として行動していく。といった内容を事業計画に記載できていると考え、このままとさせていただきます。

Q:小熊孝幸理事

プロジェクトに対する内容ですが、絞らずに広げて欲しい。

A:荒木法子より良く長く委員会委員長

家族やパートナーシップを築いた団体、メンバー益を考えてしっかりと事業を構築いたします。議案書が出た際は相談させて頂きたいと思います。

Q:菊地恭平理事

長岡の少子高齢化について、長岡の中心地と辺境地で違いもあるかと思いますが、それを踏まえた上でこの背景と目的にした理由について教えてください。

A:荒木法子より良く長く委員会委員長

確かに長岡の中心地とそれ以外では高齢化率が異なります。そして状態として少子高齢化が進んでいるのも事実です。今生きている方々が歳を重ねていく上で何ができるのかという事をこれからしっかりと考えていき、その上でまず私達に何ができるのかと考えた時

に、メンバー益やメンバーの周りの方々の利益、長岡市に対する影響力を鑑み、この背景と目的を考えました。

Q:菊地恭平理事

「長岡市が実施する健康づくりなど～発信します」の部分に関して、事前の打ち合わせ等を考慮すると期間が短いのではないのでしょうか。

A: 荒木法子より良く長く委員会委員長

現時点で業態がゼロであれば難しいのですが、今までの取り組みやデータに加え、委員会メンバーでリサーチを行っています。その上で「パートナーシップを築く」という事は4月から始めさせていただく予定ですが、それに向けてしっかりとリサーチ・意見交換を今から進めていけると思います。この4月までの4ヶ月が短く感じるという点で私も不安なのですが、単年度制である事に加えて、短い時間でしっかりと検証し結果を報告するという観点で考えた場合、適切なのではないかと思えます。

O:菊地恭平理事

単年度制である事から、毎年継続して同じ事業を行える確証がないため、「今年はやったのに来年はやらないのか」等の不満の声が出てくるかもしれないのでフォローをお願いします。

A: 荒木法子より良く長く委員会委員長

やりっぱなしにならないよう責任感を持って対応していきます。

Q:田中勝也理事

パートナーシップについて、お互い相互利益があるような関係だと考えた場合、お互いの利益の部分はどういった物がありますか。

A: 荒木法子より良く長く委員会委員長

長岡市の行政の課題である効果検証がしっかりと行えていないという点。これを行政に代わり我々が資金を出して行う事で結果を長岡市にお返しし、それを次の政策立案に繋げてもらうという関係性だと思います。

Q:田中勝也理事

私は「パートナーシップ」は金銭が関る関係性だと思うので事業計画書の文言は「協力」の方が適切なのではないのでしょうか。

A: 荒木法子より良く長く委員会委員長

「4つの戦略」の二つ目にある「パートナーシップを築く」という文言を選ばれた理事長のお気持ちと所信を大切にしたいと考え、「パートナーシップ」としました。

【採決】 挙手によって行われた。

【採決結果】 全理事賛成により承認された。

【事業計画承認後の一言】 荒木法子より良く長く委員会委員長

より良く長く委員会は今年1年のみの委員会となります。この限りある1年の中でしっ

かりと結果を出し、メンバーの皆様にあって良かったとさせていただける委員会にしていき、長岡市の皆様が希望を持てる未来を創れると感じられるよう運動を起こしていきたいと思っております。皆様からのご意見を頂きながら、それを反映していきたいと思っておりますので今年1年、どうぞよろしく願いいたします。

65周年特別委員会

【説明】土田慶和65周年特別委員会委員長

修正点について説明後、前回持ち帰りとなった質問について再回答した。

Q:白井忍理事

9行目から新しきを学ぶと有るが何を新しく学ぶのでしょうか。

A:土田慶和65周年特別委員会委員長

歴史や経験の中から我々が活動してわからなかった部分を知ることができると考えています。その上で新しい事を学ぶという「温故知新」の考え方に通じています。

Q:小熊孝幸理事

意識変化と有りますがどの様なことをお考えでしょうか。またスケジュールのどれでしょうか。

A:土田慶和65周年特別委員会委員長

長岡青年会議所の青年経済人として、意識をより良い方向に変化させたいと考えています。スケジュール内に記載はありません。委員会内で行う事業を全メンバーに伝えるという形をとっているためです。

Q:加藤弦太理事

周年事業としてはどの様なことをするのでしょうか。

A:土田慶和65周年特別委員会委員長

中身についての詳細は差し控えたいと思います。

Q:石塚昌紀理事

山本卓哉理事の「江南JC公式訪問について日韓関係が良好ではないですが大丈夫でしょうか。」という質問について進捗状況を教えて下さい。

A:土田慶和65周年特別委員会委員長

江南JCに問い合わせたところ「歓迎します」とのお返事をいただいています。

【採決】挙手によって行われた。

【採決結果】全理事賛成により承認された。

【事業計画承認後の一言】土田慶和65周年特別委員会委員長

65周年は我々の節目の年であります。全メンバーで取り組み必ず成功させ、理事長を良い形で送りたいと思っておりますので、ご協力をお願い致します。

14. 監事講評

： 高見礼央監事

第2回目となる理事候補者会議、お疲れ様でした。理事長の所信をはじめ全委員長の事業計画が通ったということで、これまで拡大や正副、今泉理事長の会社で行われた合宿も含め大変お疲れ様でございました。本年度総会に向けて最後までしっかりと望んで欲しいと思います。総会時はみなさんが理事として宣言をされていくかと思いますが、承認を得て候補者から予定者に、1月からは正式に理事になります。第1回理事候補者会議より理事の心構えや準備についてお話させていただきましたが、いよいよ覚悟を持ち始めてもらいたいと思います。後日書く、承諾書には実印が求められますが、押印の際には、その意図や重責を噛み締めて記入して下さい。そして来年の第1回理事会をしっかりとした形で臨んで下さい。

以上